

松本山雅をイメージ 緑色ギョーザ販売

地元食品会社今季開幕戦から



松本山雅FCのチームカラー
に合わせた緑色の「松本山雅
餃子」

だ緑色の「松本山雅餃子」を作った。ホームで行う3月13日の開幕戦に合わせて販売を始める予定。Jリーグ昇格を目指す地元チームの盛り上げに一役買う商品にと期待している。

総菜用ギョーザ製造販売の松本山雅FC（松本市）の信栄食品（松本市）は、JF チームカラーに合わせ、ホウレンソウの粉を皮に練り込

県産の豚肉やニラなどを使った。「サポーターが元気に応援できるように」と通常より食材のグレードを上げた

し、価格は8個で300円ほど。緑色のシューマイを入れた弁当の販売も予定している。

同社は今季、スタジアムバーナースポンサーとなることが決まっており、山雅にちなんだ商品を販売できるため、皮が緑の中華料理「翡翠餃子」を参考に新商品を企画した。

ホームゲームの日は、季節に合わせて会場で焼きギョーザや水ギョーザ、揚げギョーザなども販売する。松本市、安曇野市の直営店でも売る方針で、神倉勝男社長（42）は「今年こそ山雅にはJリーグに羽ばたいてほしいし、当社も山雅とともに成長したい」と話している。